

OLYMPUS

Your Vision, Our Future

財務戦略

2016年3月30日
オリンパス株式会社
取締役専務執行役員
経営統括室長 CFO
竹内 康雄

16CSP

本日のアジェンダ

1. 財務戦略の方向性
2. 経営目標
3. 経営指標
4. 主要セグメント数値
5. ROE重視の経営
 - 収益性：売上高純利益率
 - 資産効率性：総資産回転率
 - 財務レバレッジ
7. 営業利益率の向上
8. EPS（一株当たり当期純利益）
9. 経営資源（資本・資金等）配分の考え方

本日のアジェンダ

1. 財務戦略の方向性
2. 経営目標
3. 経営指標
4. 主要セグメント数値
5. ROE重視の経営
 - 収益性：売上高純利益率
 - 資産効率性：総資産回転率
 - 財務レバレッジ
7. 営業利益率の向上
8. EPS（一株当たり当期純利益）
9. 経営資源（資本・資金等）配分の考え方

方向性

■ キャッシュの効率的配分による財務健全性の確保と資本効率性の向上

- キャッシュフローの配分（財務健全性・成長投資・株主還元）を明確に定義し、経営目標の達成に繋げる
- 財務ガバナンス体制を強化し、グループの全体最適を優先することで、グループ内資金の効率化を図る



- ✓ 自己資本の強化
- ✓ 有利子負債の圧縮
- ✓ 早期復配の実現

- ✓ 有利子負債の戦略的コントロール
- ✓ 自己資本の安定的な確保
- ✓ 株主還元の段階的引き上げ

本日のアジェンダ

1. 財務戦略の方向性
2. **経営目標**
3. 経営指標
4. 主要セグメント数値
5. ROE重視の経営
 - 収益性：売上高純利益率
 - 資産効率性：総資産回転率
 - 財務レバレッジ
7. 営業利益率の向上
8. EPS（一株当たり当期純利益）
9. 経営資源（資本・資金等）配分の考え方

経営目標

- 適切な健全性を確保した上で、事業収益性・事業成長性をバランス良く向上させることにより、ROE 15%（資本効率性）をコンスタントに実現し、5年間で収益（EPS）倍増

資本効率性

ROE

15%

（2016年3月期見通し : 14%）

- 適切な健全性を確保した上で、事業収益性・事業成長性をバランス良く向上させ、ROE 15%を長期的に維持

事業収益性

営業利益率

15%

（2016年3月期見通し : 12%）

- 外科系3事業（GS、UG、ENT）の収益改善、科学事業の選択と集中、映像事業の確実な黒字確保により収益性を向上
- 製造原価低減に加え、開発効率の改善、間接業務の効率化等により販管費を削減し、収益性向上を図る

事業成長性

EBITDA

2桁成長*

（2016年3月期見通し : 1,500億円）
（2021年3月期 : 2,400億円）

- 医療事業において市場成長率を上回る売上拡大を実現するとともに無駄の無い事業運営に努め、質を伴った成長を実現する
- 会計的要素（減価・のれん償却等）を除いた「儲ける力」の強化を図る

健全性

自己資本比率

50%

（2016年3月期見通し : 39%）

- リスクに見合った適切な健全性の確保と適正な財務レバレッジコントロールの観点から、自己資本の充実を図る

本日のアジェンダ

1. 財務戦略の方向性
2. 経営目標
- 3. 経営指標**
4. 主要セグメント数値
5. ROE重視の経営
 - 収益性：売上高純利益率
 - 資産効率性：総資産回転率
 - 財務レバレッジ
7. 営業利益率の向上
8. EPS（一株当たり当期純利益）
9. 経営資源（資本・資金等）配分の考え方

経営指標

■ 経営目標の達成により、2021年3月期には売上高は11,000億円、営業利益は1,700億円となる見通し

	2021年3月期（イメージ）		2016年3月期（見通し）
売上高	11,000億円	CAGR 6%	8,160億円
営業利益	1,700億円	CAGR 11%	1,000億円
フリーキャッシュフロー	2,500億円以上	5年間累計	—
EPS（一株当たり当期純利益）	320円	—	163円

なお、安定した財務基盤の確保を前提とし、成長領域への投資を優先した上で、株主の期待に応える適切な水準での株主還元を実施（将来的に総還元性向30%を一つの目安として改善）

本日のアジェンダ

1. 財務戦略の方向性
2. 経営目標
3. 経営指標
4. **主要セグメント数値**
5. ROE重視の経営
 - 収益性：売上高純利益率
 - 資産効率性：総資産回転率
 - 財務レバレッジ
7. 営業利益率の向上
8. EPS（一株当たり当期純利益）
9. 経営資源（資本・資金等）配分の考え方

主要セグメント数値

(単位：億円)

	2016年3月期 (見通し)	2021年3月期 (イメージ)	CAGR
売上高			
医療	6,150	9,000	8%
科学	1,060	1,300	4%
映像	800	550	△7%
その他	150	150	0%
全社・消去	-	-	-
合計	8,160	11,000	6%

	2016年3月期 (見通し)	2021年3月期 (イメージ)	CAGR
営業利益			
医療	1,370	2,250	10%
科学	80	130	10%
映像	0	20	-
その他	△ 120	-	-
全社・消去	△ 330	△ 700	-
合計	1,000	1,700	11%

	2016年3月期 (見通し)	2021年3月期 (イメージ)	CAGR
当期純利益			
合計	560	1,100	15%

医療5事業ユニット CAGR	
消化器科呼吸器科事業 (GIRBU)	7%
外科事業 (GSBU)	11%
泌尿器科婦人科事業 (UGBU)	8%
耳鼻咽喉科事業 (ENTBU)	13%
医療サービス事業 (MSBU)	5%

※為替前提：

- ・ドル = 115円
- ・ユーロ = 130円

本日のアジェンダ

1. 財務戦略の方向性
2. 経営目標
3. 経営指標
4. 主要セグメント数値
5. **ROE重視の経営**
 - 収益性：売上高純利益率
 - 資産効率性：総資産回転率
 - 財務レバレッジ
7. 営業利益率の向上
8. EPS（一株当たり当期純利益）
9. 経営資源（資本・資金等）配分の考え方

ROE重視の経営

ROE

15%

- グローバル企業に肩を並べ、永続的に成長し続けるために必要な水準
- 収益性・資産効率性（成長性）を高め、ROE 15%を長期的に維持

2016年3月期（見通し）

2021年3月期（イメージ）

	2016年3月期（見通し）	2021年3月期（イメージ）	
収益性 <small>売上高純利益率</small> $\frac{\text{純利益}}{\text{売上高}}$	約7%	約10%	<ul style="list-style-type: none"> ■ 営業利益率改善 ■ 営業外損益改善
資産効率性 <small>総資産回転率</small> $\frac{\text{売上高}}{\text{総資産}}$	約0.8回	約0.9回	<ul style="list-style-type: none"> ■ 売上高拡大 ■ 事業用資産効率化 ■ 全社資産効率化
財務レバレッジ $\frac{\text{総資産}}{\text{自己資本}}$	約2.6倍	約2.0倍	<ul style="list-style-type: none"> ■ 財務レバレッジコントロール ■ B/Sマネジメント

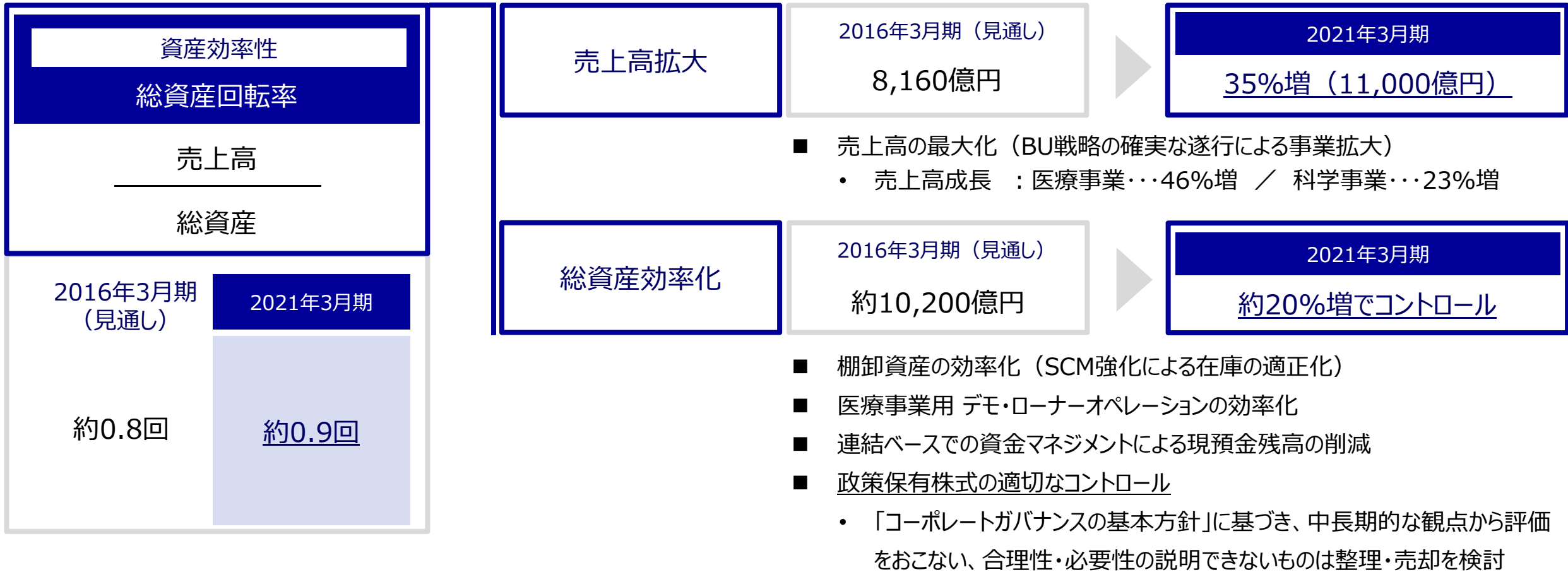
収益性：売上高純利益率

■ 事業利益拡大、本社・製造部門のコスト削減、営業外損益コントロールにより、利益率向上



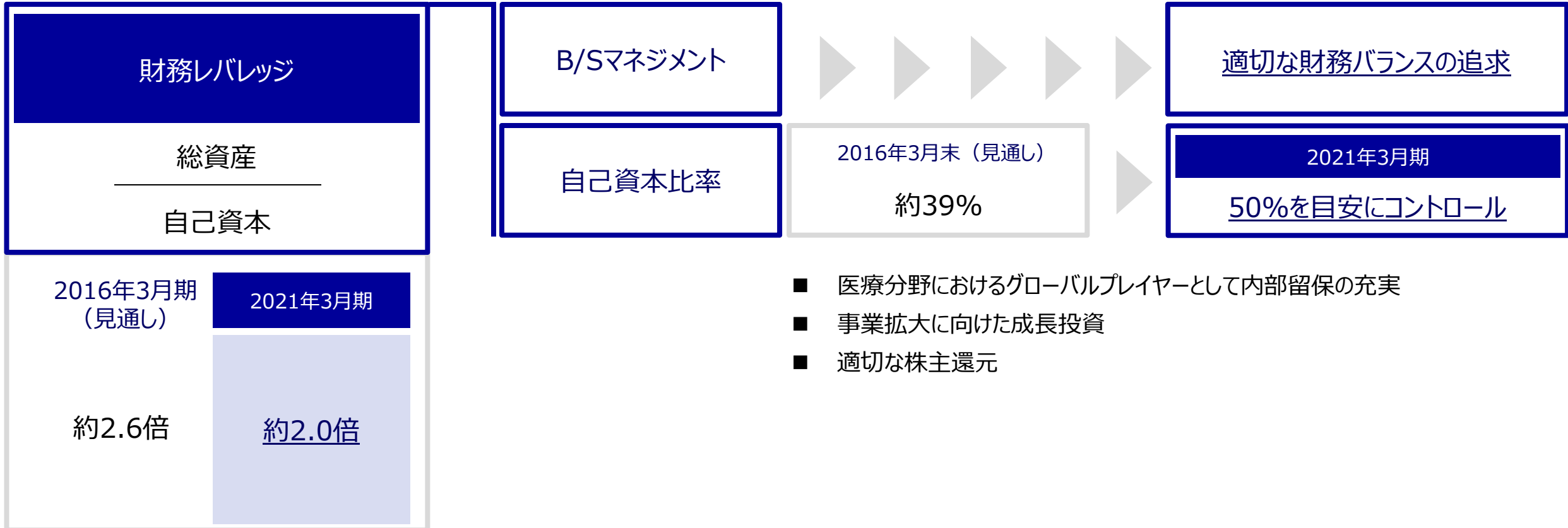
資産効率性：総資産回転率

■ 総資産をコントロールしつつ、高い成長を維持



財務レバレッジ

■ 健全性と適切な財務レバレッジの観点から自己資本をコントロール



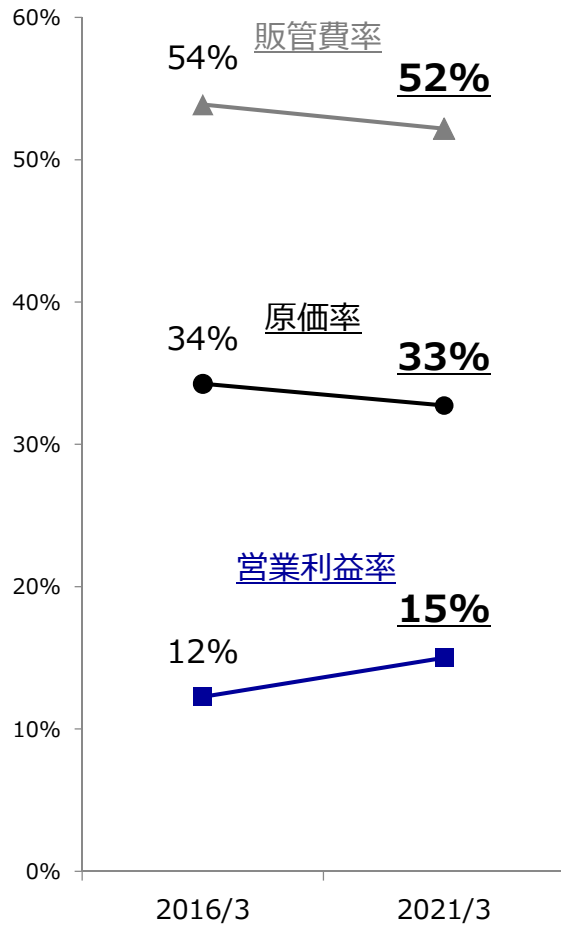
本日のアジェンダ

1. 財務戦略の方向性
2. 経営目標
3. 経営指標
4. 主要セグメント数値
5. ROE重視の経営
 - 収益性：売上高純利益率
 - 資産効率性：総資産回転率
 - 財務レバレッジ
7. 営業利益率の向上
8. EPS（一株当たり当期純利益）
9. 経営資源（資本・資金等）配分の考え方

営業利益率の向上

■ 営業利益率 15%（2016年3月期見通し比 約3pt改善）

連結改善



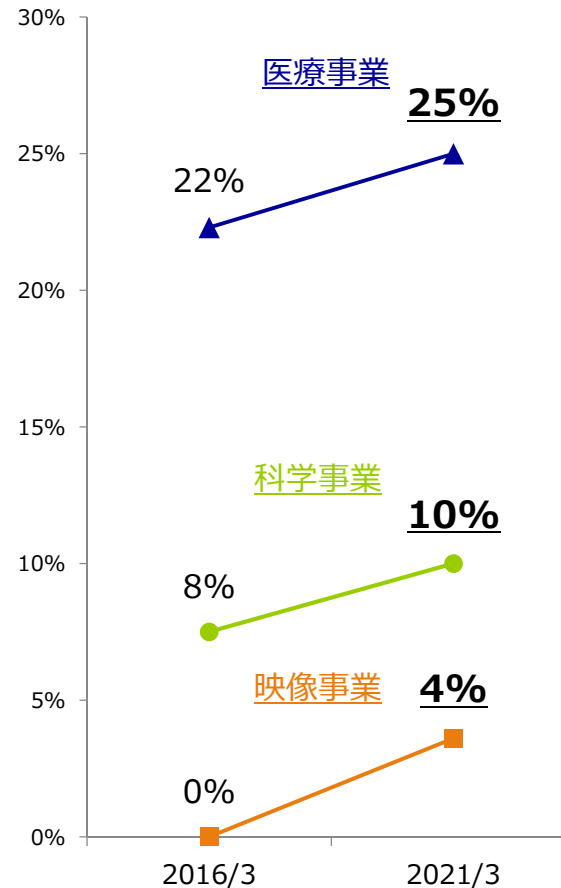
販管費率（2pt改善）

- 成長投資や強まる法規制対応等による費用増を、業務効率向上により吸収し、現状を下回る水準へ改善

原価率（1pt改善）

- 継続的な原価低減の推進
- 調達機能強化

セグメント別改善



医療事業（3pt改善）

- 消化器内視鏡の収益性向上
- 外科系3事業の収益力強化

科学事業（2pt改善）

- 顧客群別戦略に基づく選択と集中

映像事業（4pt改善）

- 継続的な事業構造改革
- 収益性の高いOM-Dシリーズ、PROレンズの販売に注力

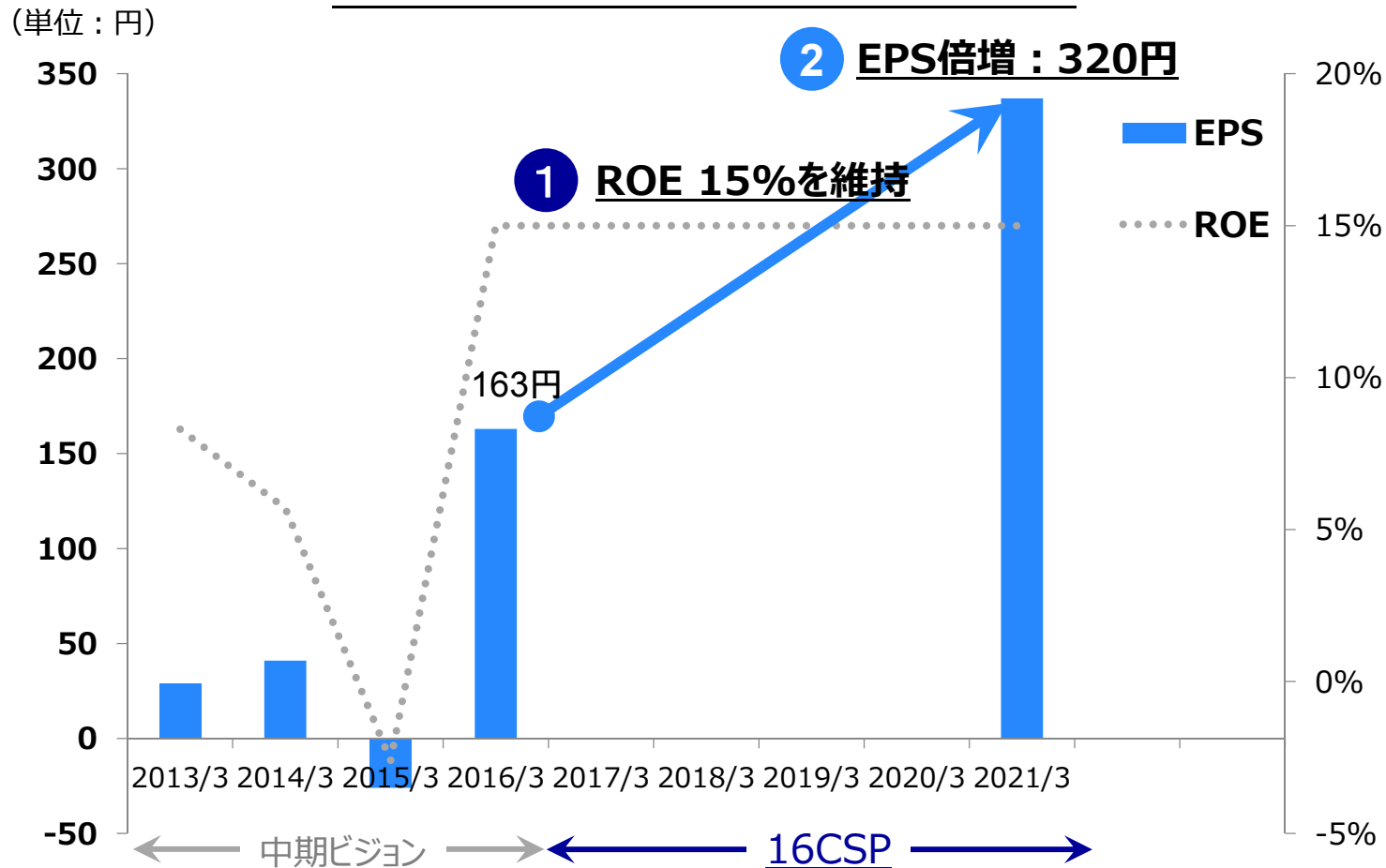
本日のアジェンダ

1. 財務戦略の方向性
2. 経営目標
3. 経営指標
4. 主要セグメント数値
5. ROE重視の経営
 - 収益性：売上高純利益率
 - 資産効率性：総資産回転率
 - 財務レバレッジ
7. 営業利益率の向上
8. **EPS（一株当たり当期純利益）**
9. 経営資源（資本・資金等）配分の考え方

EPS（一株当たり当期純利益）

■ ROE 15%をコンスタントに実現し、EPSを5年で倍増

ROE 15%とEPS倍増のイメージ

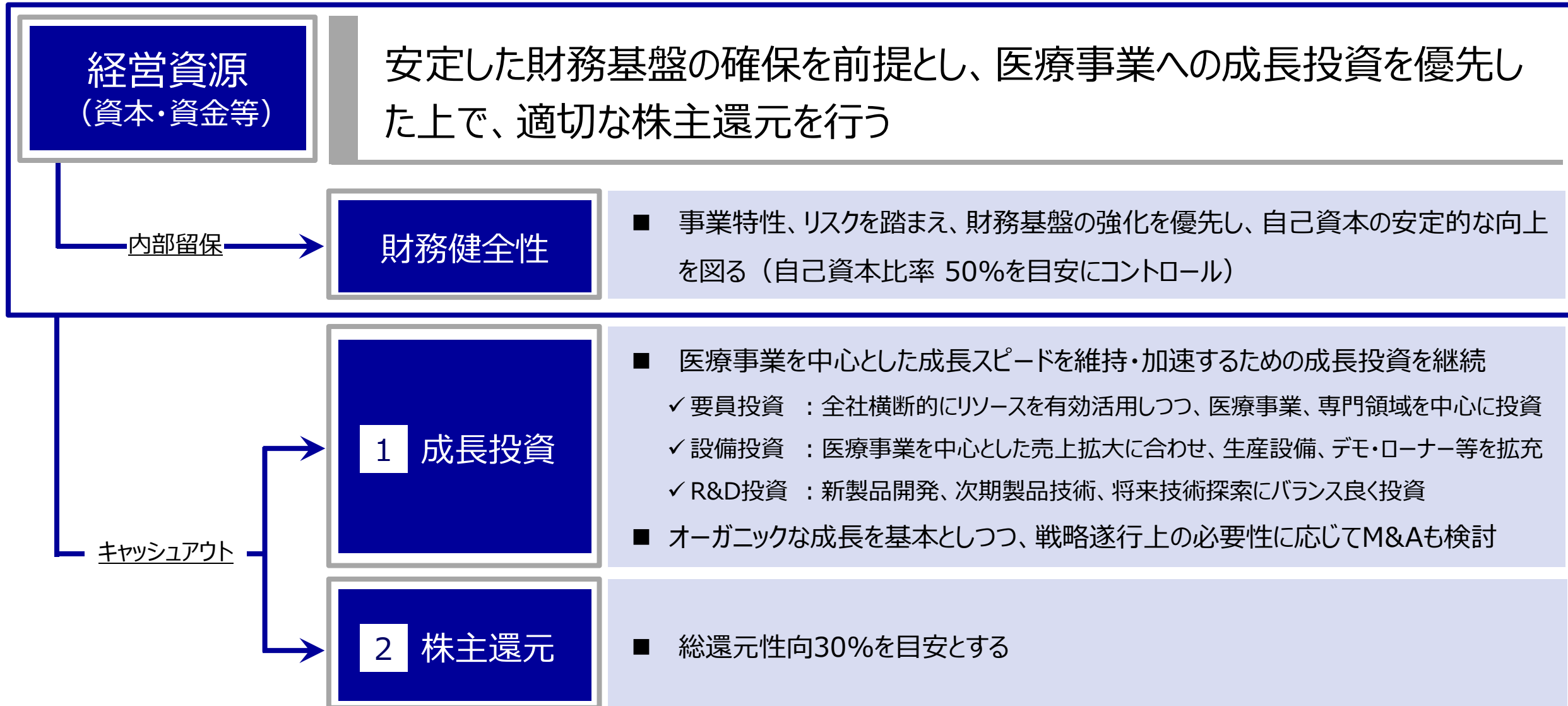


- 1 収益性、成長性、健全性をバランス良く向上させ、ROE15%をコンスタントに実現
- 2 EPSを倍増（2016年3月期比）

本日のアジェンダ

1. 財務戦略の方向性
2. 経営目標
3. 経営指標
4. 主要セグメント数値
5. ROE重視の経営
 - 収益性：売上高純利益率
 - 資産効率性：総資産回転率
 - 財務レバレッジ
7. 営業利益率の向上
8. EPS（一株当たり当期純利益）
9. 経営資源（資本・資金等）配分の考え方

経営資源（資本・資金等）配分の考え方



OLYMPUS
